



正規化ポリシーの設定

- 「正規化ポリシーのリストの表示」
- 「正規化ポリシーの追加」
- 「要求 URI の URI コンポーネントの使用」
- 「要求 URI の URI 変換パラメータの使用」
- 「要求 URI の URI パラメータの使用」
- 「SIP ヘッダーの使用」
- 「SIP ヘッダーの URI コンポーネントの使用」
- 「SIP ヘッダーの URI 変換パラメータの使用」
- 「SIP ヘッダーの URI パラメータの使用」
- 「SIP ヘッダーのヘッダー パラメータの使用」

正規化ポリシーのリストの表示

手順

- ステップ 1** [Configure] > [Normalization Policies] を選択します。
システムにより、表 15 で説明したフィールドを含む [Normalization Policies] ページが表示されます。
- ステップ 2** 正規化ポリシーを削除するには、次の手順を実行します。
- a. 削除する正規化ポリシー名の横にあるボックスをオンにします。
 - b. [Remove] をクリックします。
 - c. [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。
- ステップ 3** この変更内容を、最後にコミットしたときの状態に戻すには、次の手順を実行します。
- a. 元の状態に戻したい正規化ポリシー名の横にあるボックスをオンにします。
 - b. [Revert] をクリックします。
 - c. [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。
-

正規化ポリシーの概要

正規化ポリシーは、互換性がないネットワークを考慮して SIP メッセージを変更します。

正規化ポリシーのフィールド

表 15 に [Normalization Policies] ページのフィールドを一覧で示します。

表 15 正規化ポリシーのパラメータ

パラメータ	説明
State	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> [New] : 新しいレコード。コミット時に、アクティブな設定に追加されます。 [Modified] : 変更されたレコード。コミット時に、アクティブな設定になります。 [Deleted] : 削除されたレコード。コミット時に、アクティブな設定から削除されます。 [Active] : アクティブなレコードとアクティブな設定。
Name	正規化ポリシーの名前

[Request URI]、[URI Component] フィールド

表 16 に、[Request URI] タブ、および [URI Component] タブを表示した場合の、[Normalization Policy: <正規化ポリシー名>] ページのフィールドを一覧で示します。

表 16 [Request URI]、[URI Component] のフィールド

パラメータ	説明
Category	このページには、次に示すパラメータごとに 1 つずつ、合計 5 個のボックスがあります。 <ul style="list-style-type: none"> [User] : user URI コンポーネントに適用する正規化ポリシーを指定します。 [Phone] : phone URI コンポーネントに適用する正規化ポリシーを指定します。 [Host] : host URI コンポーネントに適用する正規化ポリシーを指定します。 [Host and Port] : host-port URI コンポーネントに適用する正規化ポリシーを指定します。 [URI] : URI 全体に適用する正規化ポリシーを指定します。 各ボックスに一致パターンを入力し、値を置換します。
Match Pattern	一致する URI コンポーネントの正規表現文字列を指定します。all と入力すると、ヘッダー全体が置き換えられます。
Replace Value	一致する文字列を置き換える URI コンポーネントの正規表現文字列を指定します。

[Request URI]、[URI Conversion] のフィールド

表 17 に、[Request URI] タブ、および [URI Conversion] タブを表示した場合の、[Normalization Policy: <正規化ポリシー名>] ページのフィールドを一覧で示します。

表 17 [Request URI]、[URI Conversion] のフィールド

パラメータ	説明
SIP URI から TEL URI への変換	
Conversion	この変換をイネーブルにするかディセーブルにするかを指定します。デフォルトではディセーブルです。
TEL URI から SIP URI への変換	
Conversion	この変換をイネーブルにするかディセーブルにするかを指定します。デフォルトではディセーブルです。
Host	URI のホストを入力します。
Port	URI のポートを入力します。

[Request URI]、[URI Parameter] のフィールド

表 18 に、[Request URI] タブ、および [URI Parameter] タブを表示した場合の、[Normalization Policy: <正規化ポリシー名>] ページのフィールドを一覧で示します。

表 18 [Request URI]、[URI Parameter] のフィールド

パラメータ	説明
URI パラメータの追加	
State	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [New] : 新しいレコード。コミット時に、アクティブな設定に追加されます。 • [Modified] : 変更されたレコード。コミット時に、アクティブな設定になります。 • [Deleted] : 削除されたレコード。コミット時に、アクティブな設定から削除されます。 • [Active] : アクティブなレコードとアクティブな設定。
Name	正規化ルールが適用される URI パラメータ名を指定します。
Value	URI パラメータに追加する値を指定します。
URI パラメータの削除	
State	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [New] : 新しいレコード。コミット時に、アクティブな設定に追加されます。 • [Modified] : 変更されたレコード。コミット時に、アクティブな設定になります。 • [Deleted] : 削除されたレコード。コミット時に、アクティブな設定から削除されます。 • [Active] : アクティブなレコードとアクティブな設定。
Name	URI パラメータ名を指定します。

表 18 [Request URI]、[URI Parameter] のフィールド (続き)

パラメータ	説明
URI パラメータの更新	
State	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [New] : 新しいレコード。コミット時に、アクティブな設定に追加されます。 • [Modified] : 変更されたレコード。コミット時に、アクティブな設定になります。 • [Deleted] : 削除されたレコード。コミット時に、アクティブな設定から削除されます。 • [Active] : アクティブなレコードとアクティブな設定。
Name	ヘッダー パラメータ名を指定します。
Match Pattern	一致する URI パラメータの正規表現文字列を指定します。 all と入力すると、ヘッダー全体が置き換えられます。
Replace Value	一致する文字列を置き換える URI パラメータの正規表現文字列を指定します。

SIP ヘッダーのフィールド

表 19 に、[SIP Header] タブを表示した場合の、[Normalization Policy: <正規化ポリシー名>] ページのフィールドを一覧で示します。

表 19 SIP ヘッダーのパラメータ フィールド

パラメータ	説明
SIP ヘッダーの追加	
State	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [New] : 新しいレコード。コミット時に、アクティブな設定に追加されます。 • [Modified] : 変更されたレコード。コミット時に、アクティブな設定になります。 • [Deleted] : 削除されたレコード。コミット時に、アクティブな設定から削除されます。 • [Active] : アクティブなレコードとアクティブな設定。
SIP Header Name	正規化手順を適用できる SIP メッセージ ヘッダーを指定します。たとえば、From、To、Record-Route、Diversion、Request-URI、P-Asserted-Identity が含まれます。
SIP Header Instances	追加する SIP ヘッダー インスタンス。

表 19 SIP ヘッダーのパラメータ フィールド (続き)

パラメータ	説明
SIP ヘッダーの削除	
State	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [New] : 新しいレコード。コミット時に、アクティブな設定に追加されます。 • [Modified] : 変更されたレコード。コミット時に、アクティブな設定になります。 • [Deleted] : 削除されたレコード。コミット時に、アクティブな設定から削除されます。 • [Active] : アクティブなレコードとアクティブな設定。
SIP Header Name	正規化手順を適用できる SIP メッセージ ヘッダーを指定します。たとえば、From、To、Record-Route、Diversion、Request-URI、P-Asserted-Identity が含まれます。
Total Number of Header Instances	削除される SIP ヘッダー インスタンスの合計数。
SIP ヘッダーの更新	
State	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [New] : 新しいレコード。コミット時に、アクティブな設定に追加されます。 • [Modified] : 変更されたレコード。コミット時に、アクティブな設定になります。 • [Deleted] : 削除されたレコード。コミット時に、アクティブな設定から削除されます。 • [Active] : アクティブなレコードとアクティブな設定。
SIP Header Name	正規化手順を適用できる SIP メッセージ ヘッダーを指定します。たとえば、From、To、Record-Route、Diversion、Request-URI、P-Asserted-Identity が含まれます。
SIP Header Index	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [first] : 特定のヘッダー パラメータが複数ある場合、この正規化手順は最初のパラメータにだけ適用されることを指定します。 • [last] : 特定のヘッダー パラメータが複数ある場合、この正規化手順は最後のパラメータにだけ適用されることを指定します。 • [all] : 特定のヘッダー パラメータが複数ある場合、この正規化手順はすべてのパラメータに適用されることを指定します。
Match Pattern	一致するヘッダー パラメータの正規表現文字列を指定します。all と入力すると、ヘッダー全体が置き換えられます。
Replace Value	一致する文字列を置き換えるヘッダー パラメータの正規表現文字列を指定します。

[SIP Header]、[URI Component] のフィールド

表 20 に、[SIP Header] タブ、および [URI Component] タブを表示した場合の、[Normalization Policy: <正規化ポリシー名>] ページのフィールドを一覧で示します。

表 20 [SIP Header]、[URI Component] のフィールド

パラメータ	説明
State	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [New] : 新しいレコード。コミット時に、アクティブな設定に追加されます。 • [Modified] : 変更されたレコード。コミット時に、アクティブな設定になります。 • [Deleted] : 削除されたレコード。コミット時に、アクティブな設定から削除されます。 • [Active] : アクティブなレコードとアクティブな設定。
SIP Header Name	正規化手順を適用できる SIP メッセージ ヘッダーを指定します。たとえば、From、To、Record-Route、Diversion、Request-URI、P-Asserted-Identity が含まれます。
SIP Header Index	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [first] : 特定の URI コンポーネントが複数ある場合、この正規化手順は最初のコンポーネントにだけ適用されることを指定します。 • [last] : 特定の URI コンポーネントが複数ある場合、この正規化手順は最後のコンポーネントにだけ適用されることを指定します。 • [all] : 特定の URI コンポーネントが複数ある場合、この正規化手順はすべてのコンポーネントに適用されることを指定します。
URI Component Type	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [URI] : URI 全体に適用する検索ポリシーを指定します。 • [User (default)] : user URI コンポーネントに適用する検索ポリシーを指定します。 • [Phone] : phone URI コンポーネントに適用する検索ポリシーを指定します。 • [Host] : host URI コンポーネントに適用する検索ポリシーを指定します。 • [Host-Port] : host-port URI コンポーネントに適用する検索ポリシーを指定します。
Match Pattern	一致する URI コンポーネントの正規表現文字列を指定します。all と入力すると、ヘッダー全体が置き換えられます。
Replace Value	一致する文字列を置き換える URI コンポーネントの正規表現文字列を指定します。

[SIP Header]、[URI Conversion] のフィールド

表 21 に、[SIP Header] タブ、および [URI Conversion] タブを表示した場合の、[Normalization Policy: <正規化ポリシー名>] ページのフィールドを一覧で示します。

表 21 [SIP Header]、[URI Conversion] のフィールド

パラメータ	説明
TEL URI から SIP URI への変換	
State	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [New] : 新しいレコード。コミット時に、アクティブな設定に追加されます。 • [Modified] : 変更されたレコード。コミット時に、アクティブな設定になります。 • [Deleted] : 削除されたレコード。コミット時に、アクティブな設定から削除されます。 • [Active] : アクティブなレコードとアクティブな設定。
SIP Header Name	正規化手順を適用できる SIP メッセージ ヘッダーを指定します。たとえば、From、To、Record-Route、Diversion、Request-URI、P-Asserted-Identity が含まれます。
SIP Header Index	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [first] : 特定の TEL URI が複数ある場合、この正規化手順は最初のコンポーネントにだけ適用されることを指定します。 • [last] : 特定の TEL URI が複数ある場合、この正規化手順は最後のコンポーネントにだけ適用されることを指定します。 • [all] : 特定の TEL URI が複数ある場合、この正規化手順はすべてのコンポーネントに適用されることを指定します。
Host	URI のホストを入力します。
Port	URI のポートを入力します。
SIP URI から TEL URI への変換	
State	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [New] : 新しいレコード。コミット時に、アクティブな設定に追加されます。 • [Modified] : 変更されたレコード。コミット時に、アクティブな設定になります。 • [Deleted] : 削除されたレコード。コミット時に、アクティブな設定から削除されます。 • [Active] : アクティブなレコードとアクティブな設定。
SIP Header Name	正規化手順を適用できる SIP メッセージ ヘッダーを指定します。たとえば、From、To、Record-Route、Diversion、Request-URI、P-Asserted-Identity が含まれます。

表 21 [SIP Header]、[URI Conversion] のフィールド (続き)

パラメータ	説明
SIP Header Index	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [first] : 特定の SIP URI が複数ある場合、この正規化手順は最初のコンポーネントにだけ適用されることを指定します。 • [last] : 特定の SIP URI が複数ある場合、この正規化手順は最後のコンポーネントにだけ適用されることを指定します。 • [all] : 特定の SIP URI が複数ある場合、この正規化手順はすべてのコンポーネントに適用されることを指定します。

[SIP Header]、[URI Parameter] のフィールド

表 22 に、[SIP Header] タブ、および [URI Parameter] タブを表示した場合の、[Normalization Policy: <正規化ポリシー名>] ページのフィールドを一覧で示します。

表 22 [SIP Header]、[URI Parameter] のフィールド

パラメータ	説明
URI パラメータの追加	
State	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [New] : 新しいレコード。コミット時に、アクティブな設定に追加されます。 • [Modified] : 変更されたレコード。コミット時に、アクティブな設定になります。 • [Deleted] : 削除されたレコード。コミット時に、アクティブな設定から削除されます。 • [Active] : アクティブなレコードとアクティブな設定。
SIP Header Name	正規化手順を適用できる SIP メッセージ ヘッダーを指定します。たとえば、From、To、Record-Route、Diversion、Request-URI、P-Asserted-Identity が含まれます。
SIP Header Index	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [first] : 特定の URI パラメータが複数ある場合、この正規化手順は最初のコンポーネントにだけ適用されることを指定します。 • [last] : 特定の URI パラメータが複数ある場合、この正規化手順は最後のコンポーネントにだけ適用されることを指定します。 • [all] : 特定の URI パラメータが複数ある場合、この正規化手順はすべてのコンポーネントに適用されることを指定します。
Parameter Name	正規化ルールが適用される URI パラメータ名を指定します。
Value	追加する値を指定します。

表 22 [SIP Header]、[URI Parameter] のフィールド (続き)

パラメータ	説明
URI パラメータの削除	
State	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [New] : 新しいレコード。コミット時に、アクティブな設定に追加されます。 • [Modified] : 変更されたレコード。コミット時に、アクティブな設定になります。 • [Deleted] : 削除されたレコード。コミット時に、アクティブな設定から削除されます。 • [Active] : アクティブなレコードとアクティブな設定。
SIP Header Name	正規化手順を適用できる SIP メッセージ ヘッダーを指定します。たとえば、From、To、Record-Route、Diversion、Request-URI、P-Asserted-Identity が含まれます。
SIP Header Index	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [first] : 特定の URI パラメータが複数ある場合、この正規化手順は最初のコンポーネントにだけ適用されることを指定します。 • [last] : 特定の URI パラメータが複数ある場合、この正規化手順は最後のコンポーネントにだけ適用されることを指定します。 • [all] : 特定の URI パラメータが複数ある場合、この正規化手順はすべてのコンポーネントに適用されることを指定します。
Parameter Name	URI パラメータ名を指定します。
URI パラメータの更新	
State	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [New] : 新しいレコード。コミット時に、アクティブな設定に追加されます。 • [Modified] : 変更されたレコード。コミット時に、アクティブな設定になります。 • [Deleted] : 削除されたレコード。コミット時に、アクティブな設定から削除されます。 • [Active] : アクティブなレコードとアクティブな設定。
SIP Header Name	正規化手順を適用できる SIP メッセージ ヘッダーを指定します。たとえば、From、To、Record-Route、Diversion、Request-URI、P-Asserted-Identity が含まれます。
SIP Header Index	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [first] : 特定の URI パラメータが複数ある場合、この正規化手順は最初のコンポーネントにだけ適用されることを指定します。 • [last] : 特定の URI パラメータが複数ある場合、この正規化手順は最後のコンポーネントにだけ適用されることを指定します。 • [all] : 特定の URI パラメータが複数ある場合、この正規化手順はすべてのコンポーネントに適用されることを指定します。
Parameter Name	ヘッダー パラメータ名を指定します。

表 22 [SIP Header]、[URI Parameter] のフィールド (続き)

パラメータ	説明
Match Pattern	一致する URI パラメータの正規表現文字列を指定します。all と入力すると、ヘッダー全体が置き換えられます。
Replace Value	一致する文字列を置き換える URI パラメータの正規表現文字列を指定します。

[SIP Header]、[Header Parameter] のフィールド

表 23 に、[SIP Header] タブ、および [Header Parameter] タブを表示した場合の、[Normalization Policy: <正規化ポリシー名>] ページのフィールドを一覧で示します。

表 23 [SIP Header]、[Header Parameter] のフィールド

パラメータ	説明
ヘッダー パラメータの追加	
State	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> [New] : 新しいレコード。コミット時に、アクティブな設定に追加されます。 [Modified] : 変更されたレコード。コミット時に、アクティブな設定になります。 [Deleted] : 削除されたレコード。コミット時に、アクティブな設定から削除されます。 [Active] : アクティブなレコードとアクティブな設定。
SIP Header Name	正規化手順を適用できる SIP メッセージヘッダーを指定します。たとえば、From、To、Record-Route、Diversion、Request-URI、P-Asserted-Identity が含まれます。
SIP Header Index	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> [first] : 特定のヘッダー パラメータが複数ある場合、この正規化手順は最初のパラメータにだけ適用されることを指定します。 [last] : 特定のヘッダー パラメータが複数ある場合、この正規化手順は最後のパラメータにだけ適用されることを指定します。 [all] : 特定のヘッダー パラメータが複数ある場合、この正規化手順はすべてのパラメータに適用されることを指定します。
Parameter Name	この追加 URI パラメータの名前。
Value	この追加 URI パラメータの値。
ヘッダー パラメータの削除	
State	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> [New] : 新しいレコード。コミット時に、アクティブな設定に追加されます。 [Modified] : 変更されたレコード。コミット時に、アクティブな設定になります。 [Deleted] : 削除されたレコード。コミット時に、アクティブな設定から削除されます。 [Active] : アクティブなレコードとアクティブな設定。

表 23 [SIP Header]、[Header Parameter] のフィールド (続き)

パラメータ	説明
SIP Header Name	正規化手順を適用できる SIP メッセージ ヘッダーを指定します。たとえば、From、To、Record-Route、Diversion、Request-URI、P-Asserted-Identity が含まれます。
SIP Header Index	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> [first]: 特定のヘッダー パラメータが複数ある場合、この正規化手順は最初のパラメータにだけ適用されることを指定します。 [last]: 特定のヘッダー パラメータが複数ある場合、この正規化手順は最後のパラメータにだけ適用されることを指定します。 [all]: 特定のヘッダー パラメータが複数ある場合、この正規化手順はすべてのパラメータに適用されることを指定します。
Parameter Name	この削除 URI パラメータの名前。
ヘッダー パラメータの更新	
State	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> [New]: 新しいレコード。コミット時に、アクティブな設定に追加されます。 [Modified]: 変更されたレコード。コミット時に、アクティブな設定になります。 [Deleted]: 削除されたレコード。コミット時に、アクティブな設定から削除されます。 [Active]: アクティブなレコードとアクティブな設定。
SIP Header Name	正規化手順を適用できる SIP メッセージ ヘッダーを指定します。たとえば、From、To、Record-Route、Diversion、Request-URI、P-Asserted-Identity が含まれます。
SIP Header Index	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> [first]: 特定のヘッダー パラメータが複数ある場合、この正規化手順は最初のパラメータにだけ適用されることを指定します。 [last]: 特定のヘッダー パラメータが複数ある場合、この正規化手順は最後のパラメータにだけ適用されることを指定します。 [all]: 特定のヘッダー パラメータが複数ある場合、この正規化手順はすべてのパラメータに適用されることを指定します。
Parameter Name	この更新 URI パラメータの名前。
Match Pattern	一致する URI コンポーネントの正規表現文字列を指定します。all と入力すると、ヘッダー全体が置き換えられます。
Replace Value	一致する文字列を置き換える URI コンポーネントの正規表現文字列を指定します。

関連項目

- 「システム設定の管理」
- 「正規化ポリシーの設定」の目次ページに戻る

正規化ポリシーの追加

手順

-
- ステップ 1** [Configure] > [Normalization Policies] を選択します。
システムにより、[Normalization Policies] ページが表示されます。
- ステップ 2** [Add] をクリックします。
システムにより、[Normalization Policies] ページが表示されます。
- ステップ 3** この正規化ポリシーの名前を入力します。
[Add] をクリックします。
システムにより、新しい正規化ポリシーが一覧表示された [Normalization Policies] ページが表示されます。
- ステップ 4** [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。
-

関連項目

- 「[システム設定の管理](#)」
- 「[正規化ポリシーの設定](#)」の目次ページに戻る

要求 URI の URI コンポーネントの使用

手順

-
- ステップ 1** [Configure] > [Normalization Policies] を選択します。
システムにより、[Normalization Policies] ページが表示されます。
- ステップ 2** 下線が引かれた、使用する正規化ポリシーの名前をクリックします。
システムにより、[URI Component] タブが選択された [Normalization Policy: < 正規化ポリシー名 >] ページが表示されます。
- ステップ 3** URI コンポーネントを追加または編集するには、次の手順を実行します。
- 値を追加または編集するコンポーネントのチェックボックスをオンにします。
 - 値を入力または変更します。表 16 を参照してください。
 - [Update] をクリックします。
- ステップ 4** URI コンポーネントを削除するには、次の手順を実行します。
- 削除するコンポーネントのチェックボックスをオフにします。
 - [Update] をクリックします。
- ステップ 5** [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。
-

関連項目

- 「システム設定の管理」
- 「正規化ポリシーの設定」の目次ページに戻る

要求 URI の URI 変換パラメータの使用

宛先の TEL URI を特定の host-port 値が指定された SIP URI に変換する正規化ポリシー手順を設定するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** [Configure] > [Normalization Policies] を選択します。
システムにより、[Normalization Policies] ページが表示されます。
 - ステップ 2** 下線が引かれた、使用する正規化ポリシーの名前をクリックします。
システムにより、[Normalization Policy: <正規化ポリシー名>] ページが表示されます。
 - ステップ 3** [URI Conversion] タブをクリックします。
 - ステップ 4** 値を入力または更新します。表 17 を参照してください。
 - ステップ 5** [Update] をクリックします。
 - ステップ 6** [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。
-

関連項目

- 「システム設定の管理」
- 「正規化ポリシーの設定」の目次ページに戻る

要求 URI の URI パラメータの使用

手順

-
- ステップ 1** [Configure] > [Normalization Policies] を選択します。
システムにより、[Normalization Policies] ページが表示されます。
 - ステップ 2** 下線が引かれた、使用する正規化ポリシーの名前をクリックします。
システムにより、[Normalization Policy: <正規化ポリシー名>] ページが表示されます。
 - ステップ 3** [URI Parameter] タブをクリックします。
 - ステップ 4** URI パラメータを要求 URI に追加するには、次の手順を実行します。
 - a. 見出し [Add URI Parameters] の下の [New] をクリックします。
 - b. パラメータの名前と値を入力します。
 - c. [Add] をクリックします。

- ステップ 5** URI からパラメータを削除するには、次の手順を実行します。
- 見出し [Remove URI Parameters] の下の [New] をクリックします。
 - 削除するパラメータの名前を入力します。
 - [Add] をクリックします。
- ステップ 6** URI のパラメータを更新するには、次の手順を実行します。
- 見出し [Update URI Parameters] の下の [New] をクリックします。
 - 更新するパラメータの名前と、一致するパターンを入力します。オプションで、パターンと置き換える値を入力することもできます。
 - [Add] をクリックします。
- ステップ 7** [ステップ 4](#) から [ステップ 6](#) で追加したパラメータを削除するには、パラメータの横のボックスをオンにし、[Remove] をクリックします。
- ステップ 8** [ステップ 4](#) から [ステップ 6](#) で追加したパラメータを以前の設定に戻すには、パラメータの横のボックスをオンにし、[Revert] をクリックします。
- ステップ 9** [ステップ 4](#) または [ステップ 6](#) で追加したパラメータを編集、追加、または更新するには、パラメータ名をクリックし、変更を加えます。
- ステップ 10** [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。

関連項目

- 「[システム設定の管理](#)」
- 「[正規化ポリシーの設定](#)」の目次ページに戻る

SIP ヘッダーの使用

手順

- ステップ 1** [Configure] > [Normalization Policies] を選択します。
システムにより、[Normalization Policies] ページが表示されます。
- ステップ 2** 下線が引かれた、SIP ヘッダーを追加する正規化ポリシーの名前をクリックします。
システムにより、[Normalization Policy: <正規化ポリシー名>] ページが表示されます。
- ステップ 3** [SIP Header] タブをクリックします。
システムにより、[SIP Header] タブが表示された [Normalization Policy: <正規化ポリシー名>] ページが開かれます。
- ステップ 4** SIP ヘッダーを追加するには、次の手順を実行します。
- 見出し [Add SIP Headers] の下の [New] をクリックします。
 - パラメータの名前を入力します。
 - [Add] をクリックします。
 - SIP ヘッダーのインデックスと値を入力します。
 - [Add] をクリックします。

- f. [SIP Header] タブが表示された [Normalization Policy: <正規化ポリシー名>] ページに戻るには、[Cancel] をクリックします。
- ステップ 5** SIP ヘッダーを削除するには、次の手順を実行します。
- 見出し [Remove SIP Headers] の下の [New] をクリックします。
 - 削除する SIP ヘッダーの名前を入力します。ヘッダー インスタンスの最上部から削除する数と、最下部から削除する数を入力します。
 - [Add] をクリックします。
- ステップ 6** SIP ヘッダーを更新するには、次の手順を実行します。
- 見出し [Update SIP Headers] の下の [New] をクリックします。
 - 更新する SIP ヘッダーの名前と、一致するパターンを入力します。オプションで、パターンと置き換える SIP ヘッダー インデックスおよび値を入力することもできます。
 - [Add] をクリックします。
- ステップ 7** [ステップ 4](#) から [ステップ 6](#) で追加した SIP ヘッダーを削除するには、パラメータの横のボックスをオンにし、[Remove] をクリックします。
- ステップ 8** [ステップ 4](#) から [ステップ 6](#) で追加した SIP ヘッダーを以前の設定に戻すには、SIP ヘッダーの横のボックスをオンにし、[Revert] をクリックします。
- ステップ 9** [ステップ 4](#) または [ステップ 6](#) で追加したパラメータを編集、追加、または更新するには、SIP ヘッダー名をクリックし、変更を加えます。
- ステップ 10** [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。

関連項目

- 「[システム設定の管理](#)」
- 「[正規化ポリシーの設定](#)」の目次ページに戻る

SIP ヘッダーの URI コンポーネントの使用

ソース メッセージのヘッダーに含まれる URI コンポーネント フィールドを更新する正規化ポリシー手順を設定するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** [Configure] > [Normalization Policies] を選択します。
システムにより、[Normalization Policies] ページが表示されます。
- ステップ 2** 下線が引かれた、使用する正規化ポリシーの名前をクリックします。
システムにより、[Normalization Policy: <正規化ポリシー名>] ページが表示されます。
- ステップ 3** [SIP Header] タブをクリックします。
- ステップ 4** [URI Component] タブをクリックします。

- ステップ 5** URI コンポーネントを SIP ヘッダーに追加するには、次の手順を実行します。
- [New] をクリックします。
 - 値を入力します。表 20 を参照してください。
 - [Add] をクリックします。
- ステップ 6** SIP ヘッダーの URI コンポーネントを編集するには、次の手順を実行します。
- 下線が引かれた SIP ヘッダーの名前をクリックします。
 - 一致パターンを更新するか、値を置き換えます。表 20 を参照してください。
 - [Update] をクリックします。
- ステップ 7** SIP ヘッダーの URI コンポーネントを削除するには、URI コンポーネントの横のボックスをオンにし、[Remove] をクリックします。
- ステップ 8** SIP ヘッダーの URI コンポーネントを元の設定に戻すには、URI コンポーネントの横のボックスをオンにし、[Revert] をクリックします。
- ステップ 9** [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。

関連項目

- 「システム設定の管理」
- 「正規化ポリシーの設定」の目次ページに戻る

SIP ヘッダーの URI 変換パラメータの使用

手順

- ステップ 1** [Configure] > [Normalization Policies] を選択します。
システムにより、[Normalization Policies] ページが表示されます。
- ステップ 2** 下線が引かれた、使用する正規化ポリシーの名前をクリックします。
システムにより、[Normalization Policy: <正規化ポリシー名>] ページが表示されます。
- ステップ 3** [SIP Header] タブをクリックします。
- ステップ 4** [URI Conversion] タブをクリックします。
- ステップ 5** 新しい変換パラメータを追加するには、次の手順を実行します。
- [TEL URI to SIP URI Conversions] ヘッダー、または [SIP URI to TEL URI Conversions] ヘッダーの下の [New] をクリックします。
 - 値を入力します。表 21 を参照してください。
 - [Add] をクリックします。
- ステップ 6** TEL URI から SIP URI への変換パラメータを編集するには、次の手順を実行します。
- 下線が引かれた SIP ヘッダーの名前をクリックします。
 - 値を更新します。表 21 を参照してください。
 - [Update] をクリックします。

- ステップ 7** URI 変換パラメータを削除するには、URI 変換パラメータの横のボックスをオンにし、[Remove] をクリックします。
- ステップ 8** URI 変換パラメータを元の設定に戻すには、URI 変換パラメータの横のボックスをオンにし、[Revert] をクリックします。
- ステップ 9** [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。

関連項目

- 「システム設定の管理」
- 「正規化ポリシーの設定」の目次ページに戻る

SIP ヘッダーの URI パラメータの使用

手順

- ステップ 1** [Configure] > [Normalization Policies] を選択します。
システムにより、[Normalization Policies] ページが表示されます。
- ステップ 2** 下線が引かれた、使用する正規化ポリシーの名前をクリックします。
システムにより、[Normalization Policy: < 正規化ポリシー名 >] ページが表示されます。
- ステップ 3** [SIP Header] タブをクリックします。
- ステップ 4** [URI Parameter] タブをクリックします。
- ステップ 5** URI パラメータを SIP ヘッダーに追加するには、次の手順を実行します。
- 見出し [Add URI Parameters] の下の [New] をクリックします。
 - 値を入力します。表 22 を参照してください。
 - [Add] をクリックします。
- ステップ 6** URI パラメータを SIP ヘッダーから削除するには、次の手順を実行します。
- 見出し [Remove URI Parameters] の下の [New] をクリックします。
 - 値を入力します。表 22 を参照してください。
 - [Add] をクリックします。
- ステップ 7** SIP ヘッダーの URI パラメータを更新するには、次の手順を実行します。
- 見出し [Update URI Parameters] の下の [New] をクリックします。
 - 値を入力します。表 22 を参照してください。
 - [Add] をクリックします。
- ステップ 8** ステップ 5 から ステップ 7 で追加したパラメータを削除するには、パラメータの横のボックスをオンにし、[Remove] をクリックします。
- ステップ 9** ステップ 5 から ステップ 7 で追加したパラメータを以前の設定に戻すには、パラメータの横のボックスをオンにし、[Revert] をクリックします。
- ステップ 10** ステップ 5 または ステップ 7 で追加したパラメータを編集、追加、または更新するには、パラメータ名をクリックし、変更を加えます。

- ステップ 11** [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。
-

関連項目

- 「システム設定の管理」
- 「正規化ポリシーの設定」の目次ページに戻る

SIP ヘッダーのヘッダー パラメータの使用

手順

-
- ステップ 1** [Configure] > [Normalization Policies] を選択します。
システムにより、[Normalization Policies] ページが表示されます。
- ステップ 2** 下線が引かれた、使用する正規化ポリシーの名前をクリックします。
システムにより、[Normalization Policy: <正規化ポリシー名>] ページが表示されます。
- ステップ 3** [SIP Header] タブをクリックします。
- ステップ 4** [Header Parameter] タブをクリックします。
- ステップ 5** ヘッダー パラメータを SIP ヘッダーに追加するには、次の手順を実行します。
- 見出し [Add Header Parameters] の下の [New] をクリックします。
 - 値を入力します。表 23 を参照してください。
 - [Add] をクリックします。
- ステップ 6** ヘッダー パラメータを SIP ヘッダーから削除するには、次の手順を実行します。
- 見出し [Remove Header Parameters] の下の [New] をクリックします。
 - 値を入力します。表 23 を参照してください。
 - [Add] をクリックします。
- ステップ 7** SIP ヘッダーのヘッダー パラメータを更新するには、次の手順を実行します。
- 見出し [Update Header Parameters] の下の [New] をクリックします。
 - 値を入力します。表 23 を参照してください。
 - [Add] をクリックします。
- ステップ 8** ステップ 5 から ステップ 7 で追加したパラメータを削除するには、パラメータの横のボックスをオンにし、[Remove] をクリックします。
- ステップ 9** ステップ 5 から ステップ 7 で追加したパラメータを以前の設定に戻すには、パラメータの横のボックスをオンにし、[Revert] をクリックします。
- ステップ 10** ステップ 5 または ステップ 7 で追加したパラメータを編集、追加、または更新するには、パラメータ名をクリックし、変更を加えます。
- ステップ 11** [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。
-

関連項目

- [「システム設定の管理」](#)
- [「正規化ポリシーの設定」](#) の目次ページに戻る

